


# 2020年3月期決算説明資料

 ユシロ化学工業株式会社 TYO 5013

2020年6月3日



# INDEX

## 会社概要 Business Outline 3

会社概要	4
ユシロの由来	5
ユシログループの売上高の推移	6
ユシログループ 国内外拠点	7
2020年3月期 地域別売上高	8
製品と用途の紹介	9
顧客の細かなニーズに最適化した製品ラインナップを構築	10
営業×技術が築く強固な顧客基盤	11
金属加工油剤の得意先別売上高構成	12

## 2020年3月期 決算業績概要 Results 13

2020年3月期 実績（連結）	14
2020年3月期 業績概要（連結）	15
2020年3月期 営業利益（連結）増減要因分析	16
海外連結子会社売上高（現地通貨） アメリカ・ブラジル・メキシコ・中国	17
海外連結子会社売上高（現地通貨） タイ・インド・マレーシア・インドネシア	18
貸借対照表（連結）	19

キャッシュ・フロー計算書（連結）	20
株主還元	21

## 2021年3月期 業績予想 Forecast 22

2021年3月期 業績予想（連結）の発表について	23
新型コロナウイルス感染症への当社グループの対応	24

## 直近のトピックス Topics 25

Topics 1：ユシロベトナム社の設立	26
Topics 2:自己修復機能を持つ新素材の事業化①	27
:自己修復機能を持つ新素材の事業化②	28
:自己修復機能を持つ新素材の事業化③	29

## 《参考資料》 Appendix 31

QualiChem社の概要	32
QualiChem社の特長	33

A dynamic splash of clear water against a blue gradient background, with ripples spreading across the surface.

# 会社概要

A background pattern of light-colored hexagons, some with thin green or purple outlines, creating a molecular or chemical structure aesthetic.

## Business Outline



# 会社概要

## 会社概要（2020年3月末現在）

社名	<b>ユシロ化学工業株式会社</b> (英文名称：Yushiro Chemical Industry Co.,Ltd.)
本社	東京都大田区千鳥2丁目34番16号
代表者	代表取締役社長 大胡 栄一
創立	昭和19年7月24日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属加工油剤(切削油剤、圧延油剤、引抜油剤、プレス油剤、ダイカスト離型剤、さび止め油剤、洗浄剤等)の製造・販売</li> <li>・ビルメンテナンス製品(フロアメンテナンス用ワックスおよび剥離剤、洗浄剤、メンテナンス用機器)の製造・販売</li> </ul>
資本金	4,249百万円
連結子会社	<p>(国内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本シー・ピー・ケミカル株式会社(化学品製造・販売)</li> <li>・ユシロ運送株式会社(製品輸送)</li> <li>・ユシロ・ゼネラルサービス株式会社(ユシロ運送の倉庫管理業務)</li> </ul> <p>(海外)</p> <p>北米、南米、アジア地域に合計14社のネットワークを有しています。</p>
従業員数	単体：305名 連結：1,017名

## 海外ネットワーク詳細

地域	国	社名	住所
北米	アメリカ	YUSHIRO MANUFACTURING AMERICA,INC.	米国インディアナ州 シェルビービル市
		QualiChem,Inc.	米国バージニア州
	メキシコ	YUSHIRO MEXICO S.A.DE C.V.	メキシコ国 グアナファト州
南米	ブラジル	YUSHIRO DO BRASIL INDUSTRIA QUIMICA LTDA.	ブラジル国 サンパウロ州カサパバ市
アジア	中国	上海尤希路化学工業有限公司	中国上海市宝山区
		啓東尤希路化学工業有限公司	中国江蘇省啓東市
	タイ	YUSHIRO(THAILAND)CO.,LTD.	タイ国チョンブリ県
	マレーシア	YUSHIRO MALAYSIA SDN.BHD.	マレーシア国 セランゴール州プチョン
	インドネシア	PT.YUSHIRO INDONESIA	インドネシア国 西ジャワ州カラワン県
	ベトナム	YUSHIRO VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム国ホーチミン市 *非連結子会社
	インド	YUSHIRO INDIA COMPANY PRIVATE LIMITED	インド国 ハリヤナ州グルグラム
	台湾	三宜油化股份有限公司	台湾台北市
	韓国	汎字化学工業株式会社	韓国ソウル特別市

# ユシロ化学工業



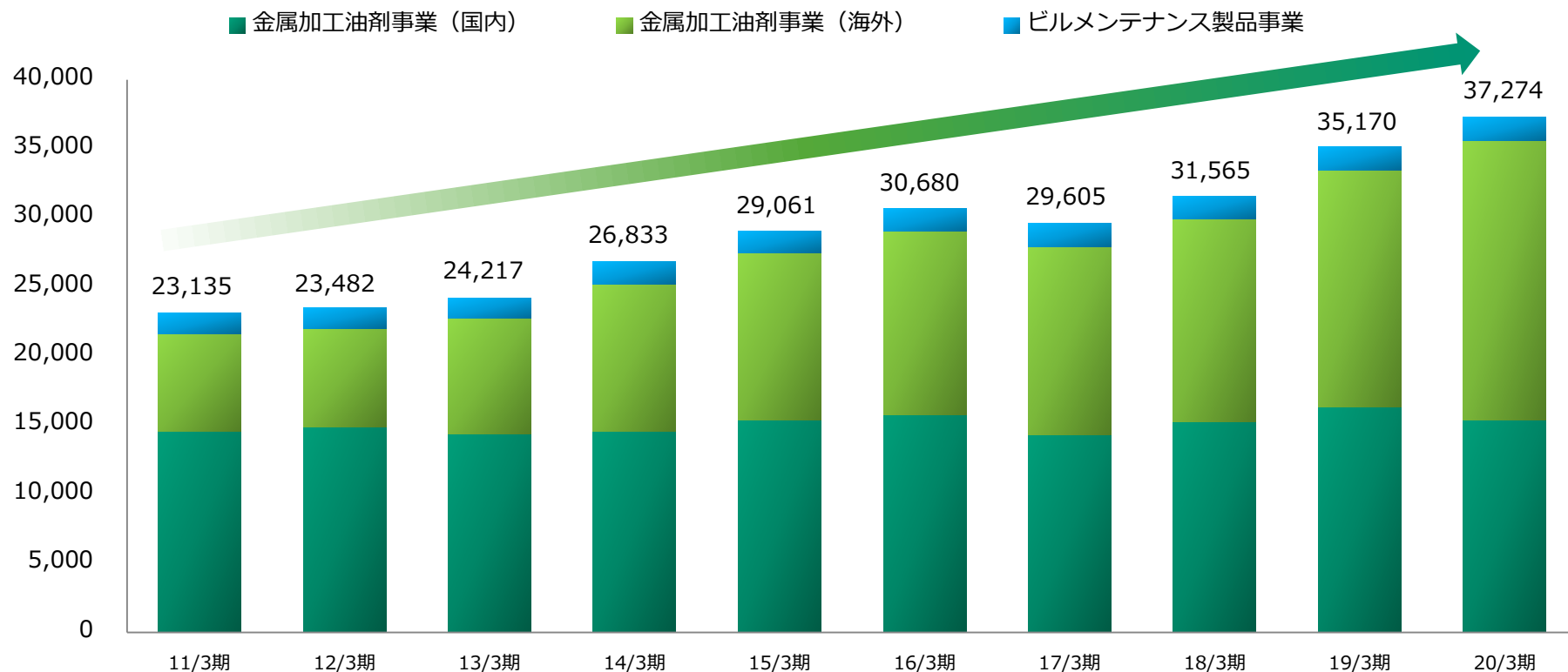
ゆ し ろ  
油 脂 蝋

昭和19年、創業者森本貫一が油脂蝋（ゆしろ）の精製加工を目的として会社を設立したことによる

創業来70年にわたる金属加工油剤のリーディングカンパニー

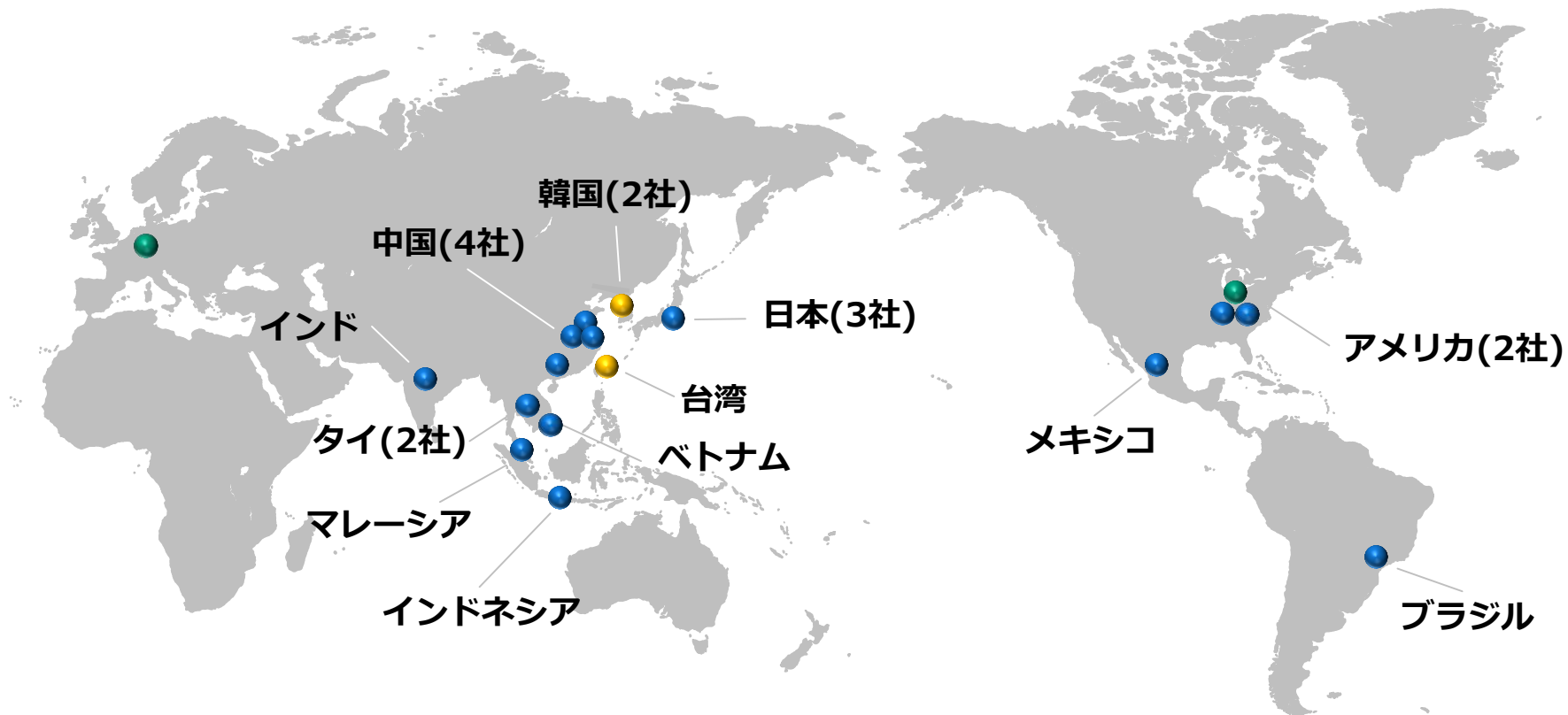
# ユシログループの売上高の推移

- 金属加工油剤事業は、2018年買収したQualiChem社の貢献と海外展開の日系自動車メーカーの需要を確保したことで、海外での売上げがグループ全体の過半数を超えた
- ビルメンテナンス製品事業は、安定的な需要を取り込むことで一定の基盤を確保



# ユシログループ 国内外拠点

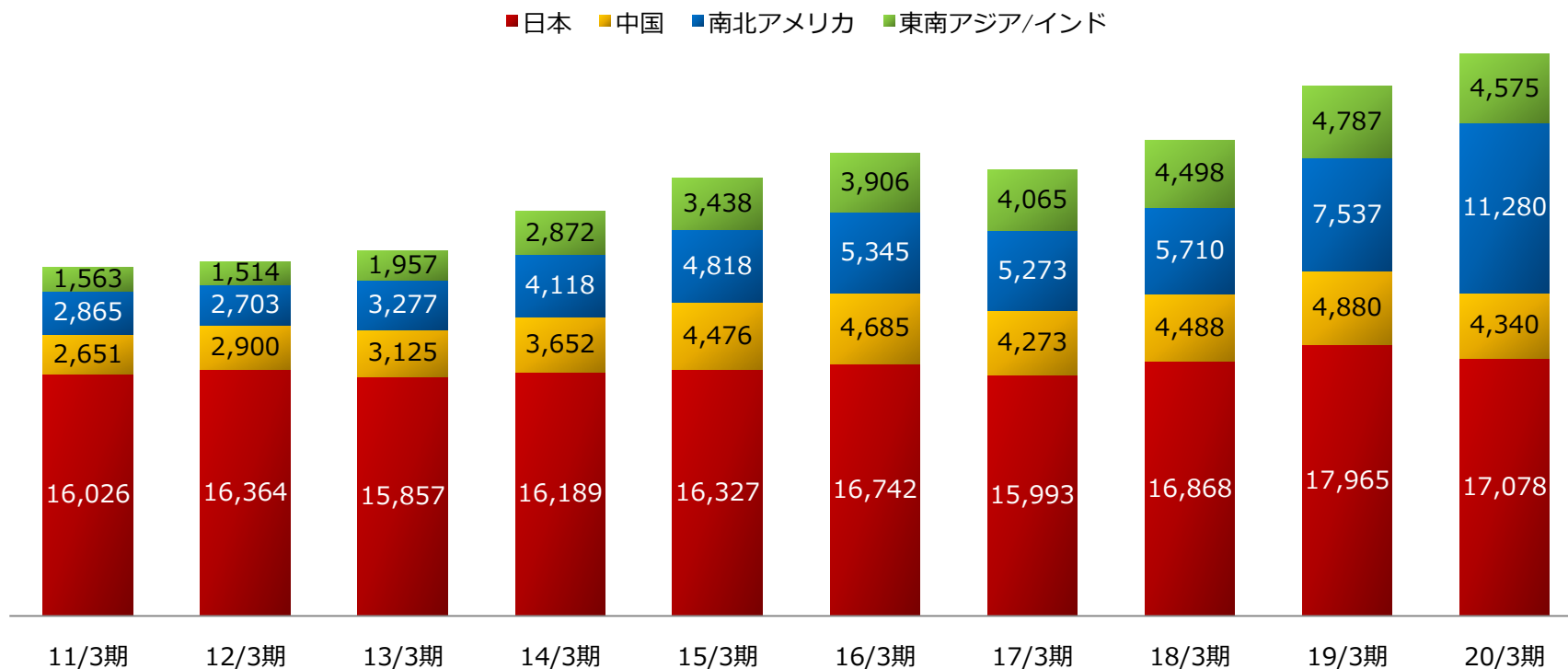
- 子(孫)会社 (国内3社、海外14社)
- 持分法適用会社 (海外3社)
- 技術提携会社 (海外2社)



# 2020年3月期 地域別売上高

- QualiChem社の貢献で、南北アメリカセグメントが大きく伸長し、  
海外比率がグループ全体の過半数を超えた

## セグメント別売上高（百万円）

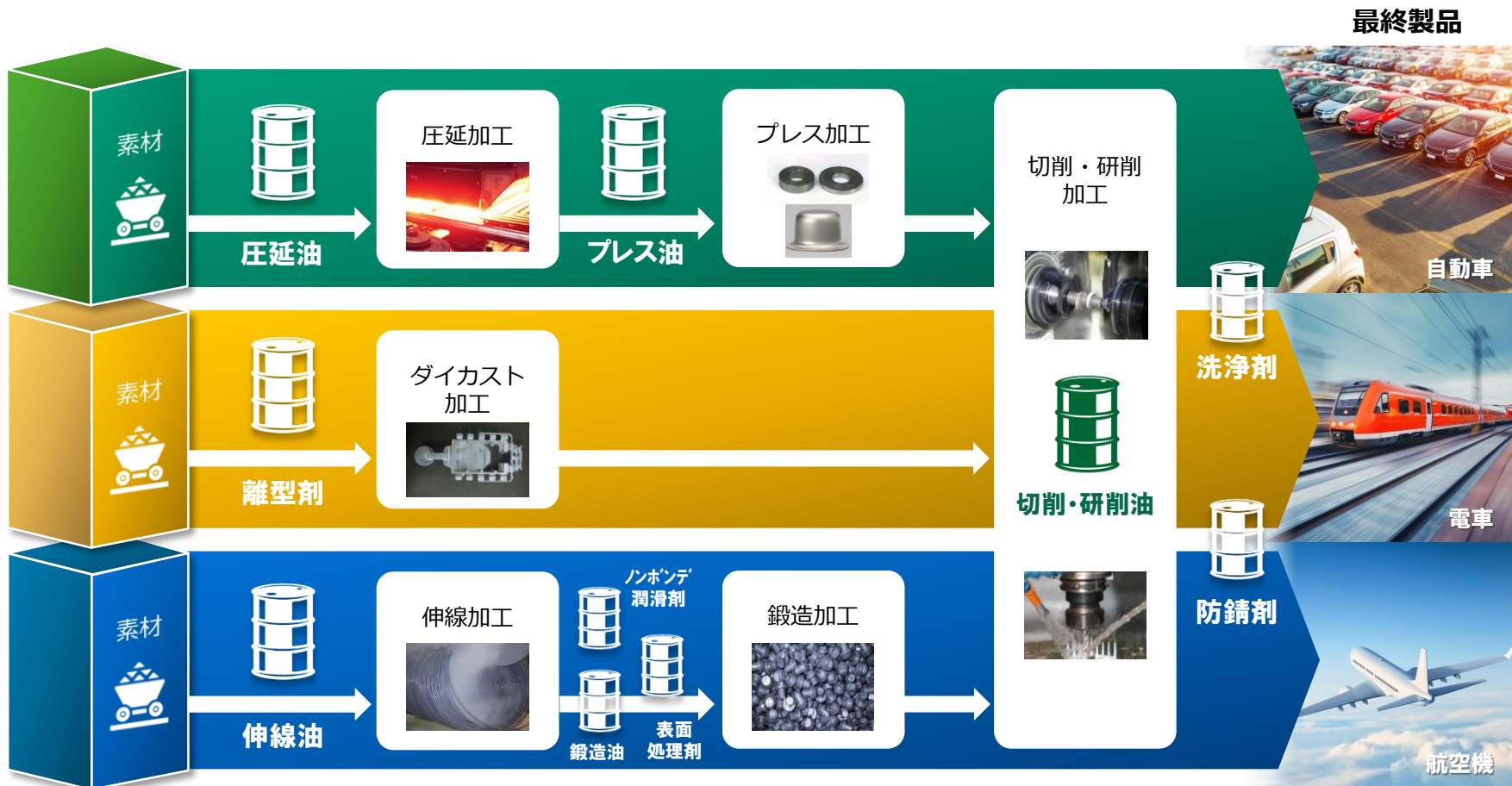




# 製品と用途の紹介

顧客の金属加工の各工程において、  
前後工程を踏まえた最適な金属加工油剤を提供

金属加工の工程



# 顧客の細かなニーズに最適化した製品ラインナップを構築

	炭素鋼	合金鋼	ステンレス鋼 耐熱鋼	鋳鉄 可鍛鋳鉄	アルミ アルミ合金	銅 銅合金	セラミック ガラス
一般 切削加工	<h2>素材 × 加工方法 × 加工条件</h2> <p>製造条件により金属加工油に 求められる機能は千差万別</p> <p>あらゆる顧客ニーズに応じて開発した 豊富な製品ラインナップが <b>ユシロの技術力の証</b></p>						
深穴加工							
歯車加工							
仕上加工							
自動機加工							
研削加工							

## 営業×技術が築く強固な顧客基盤

# 営業×技術。根拠に裏打ちされた コミュニケーション力が強固な顧客基盤の源泉

営業  技術

### ユシロが 選ばれる理由

たとえば

顧客の現場環境で使用される機器を実際に導入し、再現したうえで評価方法ひとつから独自に開発。確かな技術力と徹底した顧客ファーストの姿勢が信頼を得ています。



### 選ばれ続ける 匠のノウハウ

たとえば

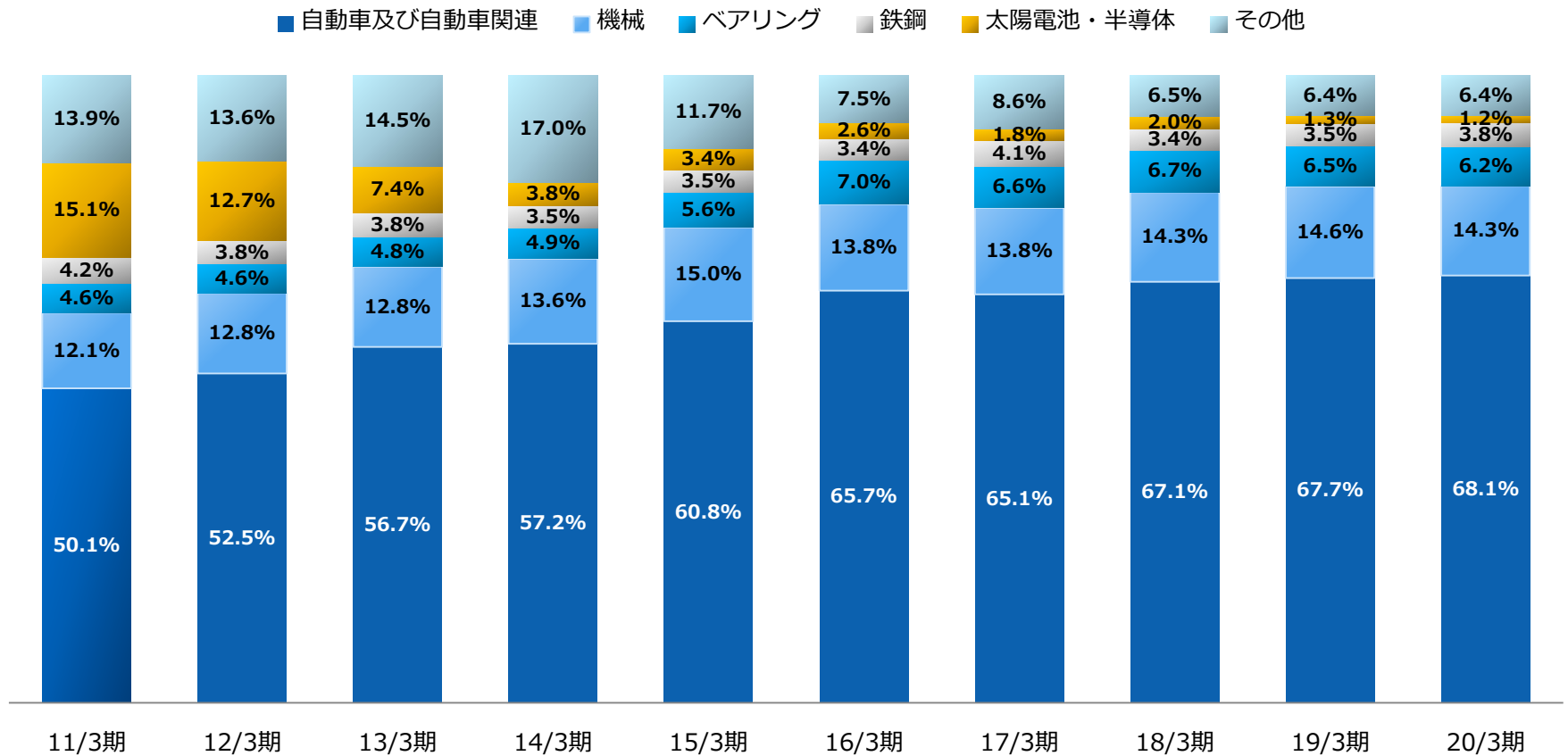
水溶性切削油剤は顧客の立地する各地域の希釈水硬度に合わせて製品を提供。きめ細かなアフターメンテナンスで油剤の診断を実施し長寿命化に貢献しています。

金属加工油剤における高いシェア

圧倒的な顧客継続率

# 金属加工油剤事業の得意先別売上高構成

- 10年以上国内自動車メーカーにおける約60%以上のシェアを継続



# 2020年3月期 決算業績概要



Results

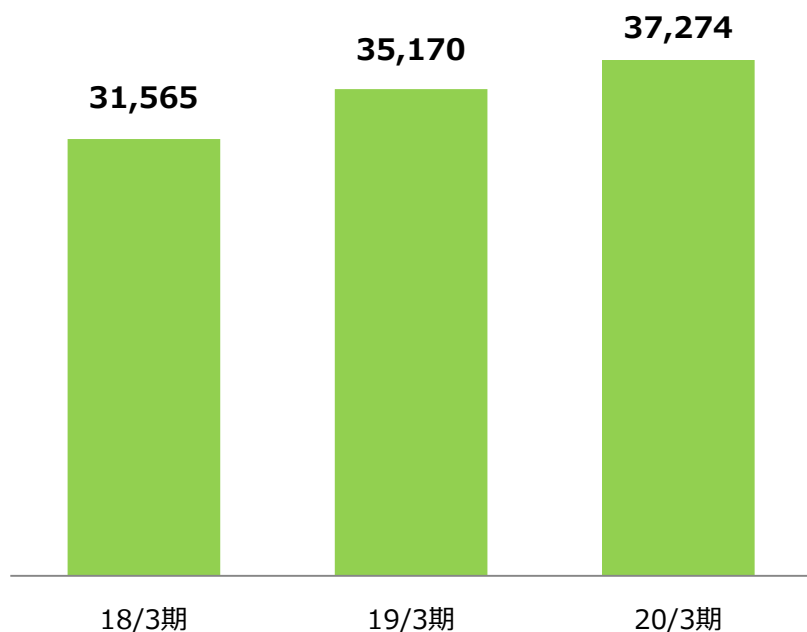


©2020 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.  
All Rights Reserved.

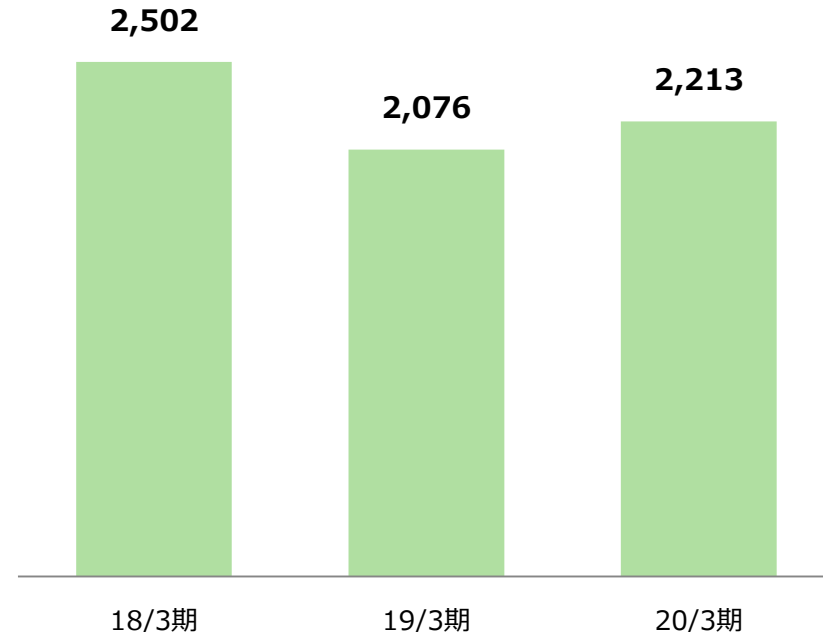
## 2020年3月期実績（連結）

- 売上高は、QualiChem社の業績を通期で取り込んだこと及びメキシコ・ユシロ、インドネシア・ユシロでのシェア拡大により増収
- 営業利益は、QualiChem社、タイ・ユシロでの増益及びブラジル・ユシロでの黒字化により増益

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



## 2020年3月期業績概要（連結）

- 売上高は、日系自動車メーカーへのシェア拡大を進め、またQualiChem社の業績を通期で取り込んだ結果、前期比6.0%の増収
- 営業利益は、価格改定を進めたこと、またQualiChem社の業績が大きく寄与し、前期比6.6%の増益
- 経常利益は、持分法投資利益の減少を営業利益の増加でカバーし増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産の売却益もあり増益

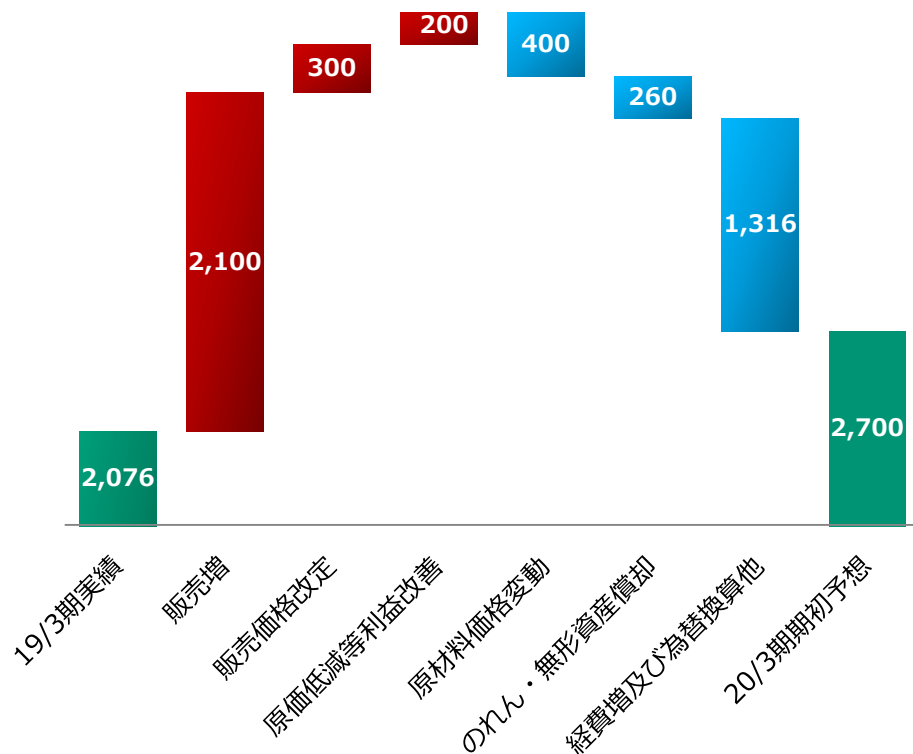
(百万円)

	19/3期	20/3期 計画 (2019.11.7修正)	20/3期 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	35,170	38,000	37,274	+2,103	+6.0%	△725	△1.9%
営業利益	2,076	2,200	2,213	+137	+6.6%	+13	+0.6%
経常利益	2,634	2,700	2,718	+83	+3.2%	+18	+0.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,724	1,800	1,913	+188	+10.9%	+113	+6.3%

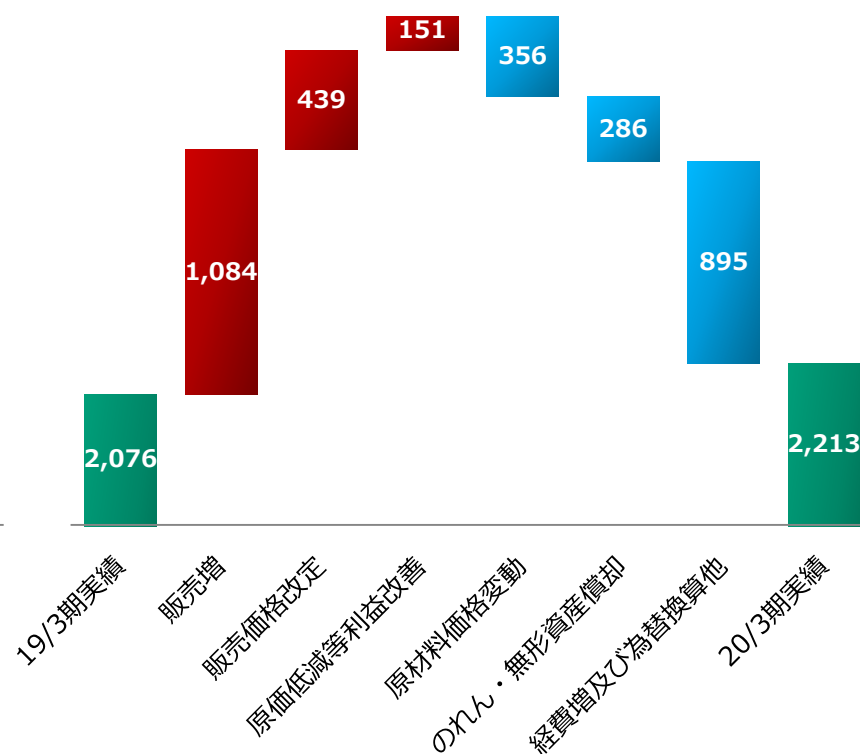
# 2020年3月期 営業利益（連結）増減要因分析

- 国内及び海外での自動車生産台数の減少により販売増が期初予想を下回り、それに伴って経費増及び為替換算他についても期初予想を下回ったものの、増益幅は期初予想よりも縮小

期初予想（百万円）



実績（百万円）



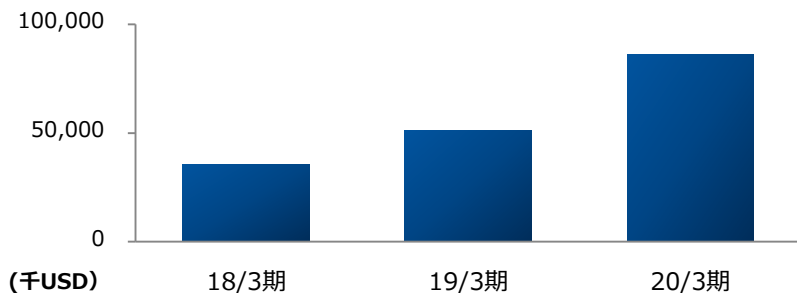


# 海外連結子会社売上高（現地通貨） アメリカ・ブラジル・メキシコ・中国

## アメリカ



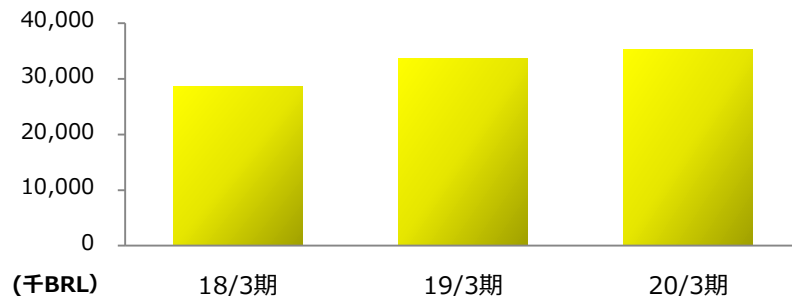
アメリカ・ユシロは日系自動車メーカーの生産台数減少により前期実績を下回るも、QualiChem社の業績を通期で取り込んだことで前期比68.5%の増収



## ブラジル



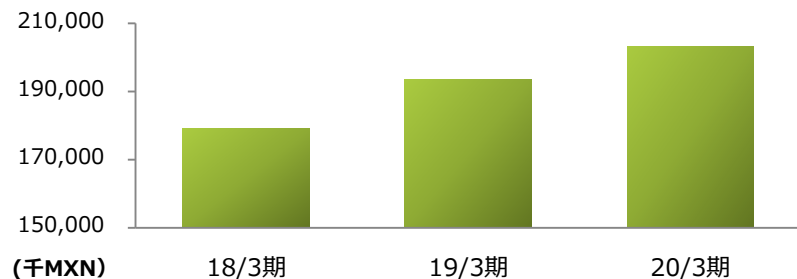
回復基調にある自動車生産台数に支えられ、前期比5.0%の増収



## メキシコ



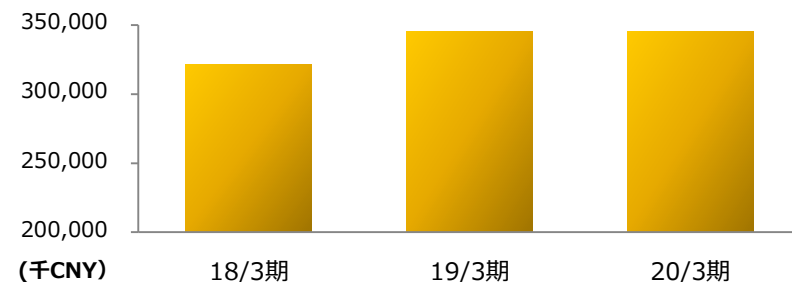
自動車生産台数が減少しているものの、日系自動車メーカーへのシェア拡大で、4.9%の増収



## 中国



鉄鋼メーカーの在庫増加の影響があったものの、日系自動車メーカーの生産は前期を上回ったことで、前年並みの売上を維持

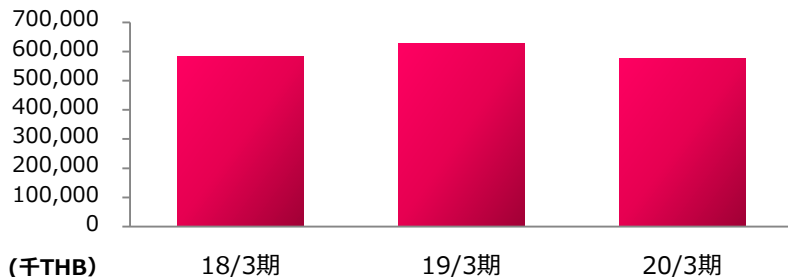


# 海外連結子会社売上高（現地通貨） タイ・インド・マレーシア・インドネシア

## タイ



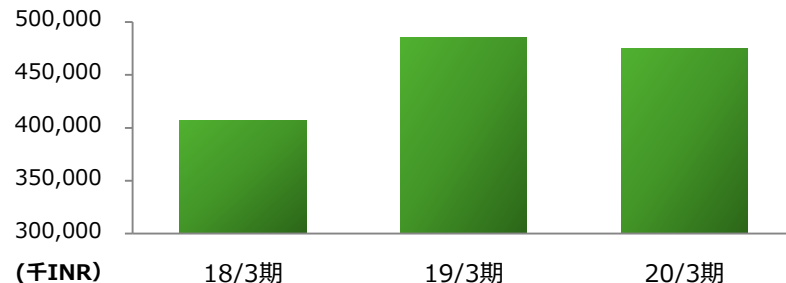
日系自動車メーカーの生産台数減少により7.8%の減収



## インド



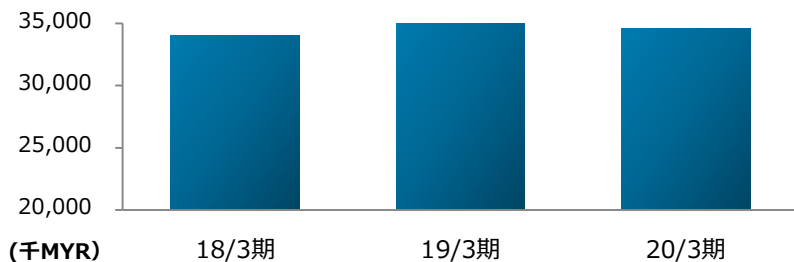
GDP成長率が減速傾向の中、日系自動車メーカーの生産台数減少が響き、2.3%の減収



## マレーシア



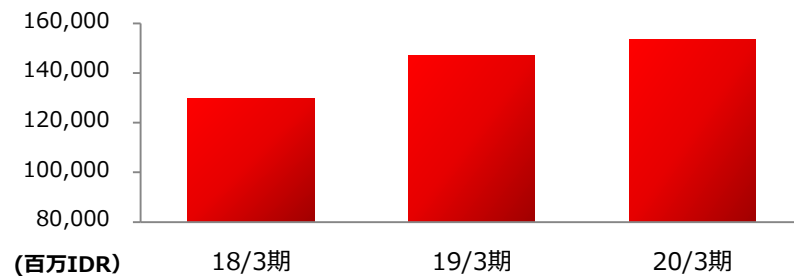
国内自動車メーカーの生産は好調だったものの、フィリピン向けの輸出減少が響き2.4%の減収



## インドネシア



日系自動車メーカーの生産台数が減少したものの、新規拡販により、4.3%の増収



## 貸借対照表（連結）

- 資産は、主に投資有価証券、受取手形及び売掛金が減少
- 負債は、主に長期借入金、支払手形及び買掛金が減少

(百万円)

	19/3期末	20/3期末	差額
資産合計	48,958	47,320	△1,637
負債合計	17,166	15,453	△1,713
純資産合計	31,791	31,867	+75
負債・純資産合計	48,958	47,320	△1,637

## キャッシュ・フロー計算書（連結）

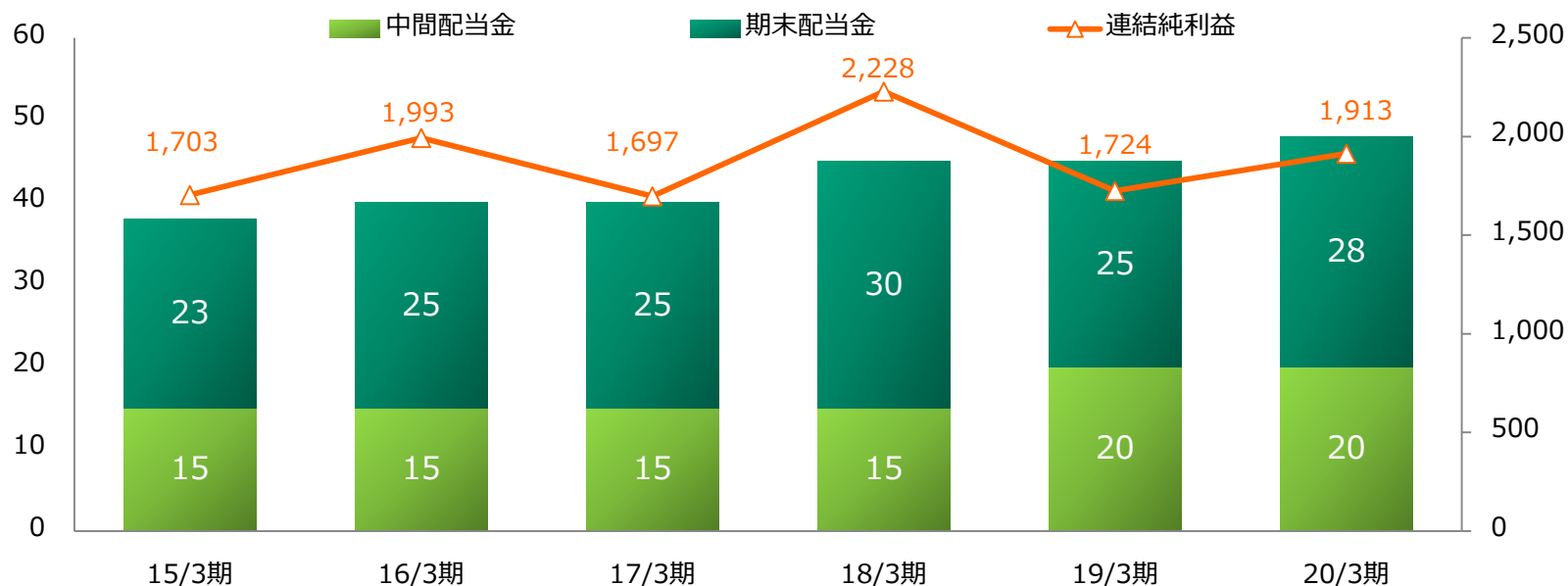
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により変動
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、配当金の支払により変動

(百万円)

	19/3期末	20/3期末	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,121	2,829	+707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,510	△1,111	+5,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,500	△1,508	△5,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	△245	△6	+239
現金及び現金同等物の増減額	△1,135	202	+1,338
現金及び現金同等物の期首残高	8,082	6,947	△1,135
現金及び現金同等物の期末残高	6,947	7,150	+202

# 株主還元

- 配当方針 連結配当性向30%を一つの目安とし、投資とのバランスを考慮しながら安定的な配当を目指します



配当性向 (連結)	30.9%	27.8%	32.2%	27.4%	35.4%	34.1%
-----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

純資産配当率 (連結)	1.8%	2.0%	2.0%	2.1%	2.0%	2.2%
-------------	------	------	------	------	------	------

1株当たり配当金	38円	40円	40円	45円	45円	48円
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

# 2021年3月期 業績予想

Forecast



©2020 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.  
All Rights Reserved.

## 2021年3月期 業績予想（連結）の発表について

2020年5月13日のニュースリリースにおけるご報告の通り、  
昨今の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的拡大に伴い、  
合理的な将来予測が困難であることにより、2021年3月期の業績予想は現時点で未定、  
新中期経営計画の公表についても延期とさせていただきます。  
今後、新型コロナウイルス感染症の当社事業および業績への影響を慎重に精査し、  
合理的な予想が可能となり次第、速やかに公表させていただきます。

# 新型コロナウイルス感染症への当社グループの対応

- 各国の規制、自動車メーカーの生産停止により当社グループでも操業停止、減産を余儀なくされている
- テレワークの実施、時差出勤の活用、操業時間の短縮など、各国の状況に沿った感染対策を実施している

セグメント	2020/1 - 2020/3		2020/4以降	
	自動車生産の動向	当社グループの対応	自動車生産の動向	当社グループの対応
日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各自動車メーカーは3月下旬頃より生産停止および減産を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業は一部活動自粛。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各自動車メーカーによる生産停止および減産は5月下旬まで続いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4月、5月は営業活動を自粛、減産対応などを実施。</li> </ul>
南北アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 米系自動車メーカーは3月中旬、日系自動車メーカーは3月下旬より生産を停止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在宅勤務、シフト制を導入。一部生産調整を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 米系メーカー、日系メーカーともに5月中旬より順次生産を再開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4月以降は3月の対応に加えて休業日を設定。アメリカは5月中旬より通常稼働に移行。</li> </ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各自動車メーカーは1月末に一斉に生産を停止。2月中旬～下旬より順次生産を再開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車メーカーの生産再開を受け、営業活動を再開するが、訪問禁止の企業が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日系自動車メーカーの生産体制が徐々に整い、5月に入り通常の実産体制となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4月中旬より訪問を解禁する企業が増え、本格的に営業活動を再開。</li> </ul>
東南アジア / インド	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日系自動車メーカーは3月下旬より生産停止または減産を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在宅勤務、シフト制を導入。シャットダウンにより、操業を停止する拠点あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日系自動車メーカーは生産停止または減産を5月下旬まで延長。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産停止または減産を継続。5月に入り稼働禁止は解除されたが、通常稼働まで時間を要する。</li> </ul>

※自動車生産の動向に関する参考資料：LMC Automotive：「COVID-19 Plant-impact update」





# 直近のトピックス

Topics

# Topics 1: ユシロベトナム社の設立

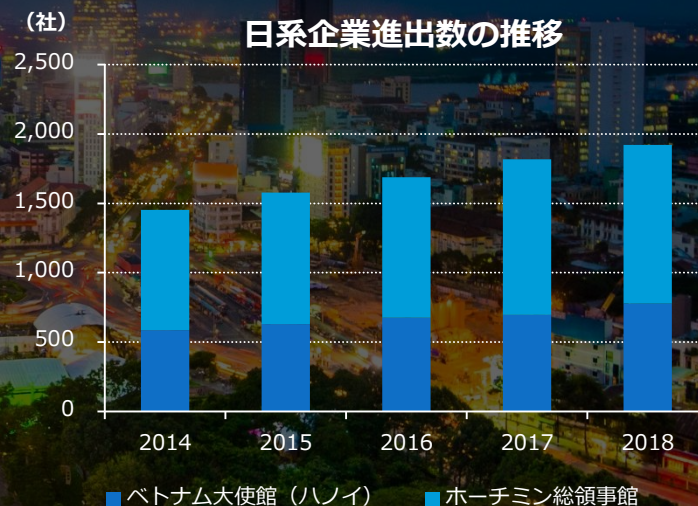
- 日系製造業の進出増加に対応
- 販売拠点の設置により、機動的な対応で販売強化

会社名 YUSHIRO VIETNAM CO.,LTD.

所在地 ベトナム国ホーチミン市

設立年月日 2019年8月

- 取扱製品
- ① 切削油剤
  - ② 研削油剤
  - ③ 表面処理剤
  - ④ 塑性加工油剤



出所：外務省ウェブサイト

## Topics 2: 自己修復機能を持つ新素材の事業化①

自己修復材料の市場規模は  
約**30兆円**（2030年見通し）

出所：首相官邸公表「戦略市場創造プラン（ロードマップ）（案）」より

国内の重要インフラ・  
老朽化インフラに対する  
新たなメンテナンスシステムを  
構築する主要技術のひとつとして  
大きな成長が見込まれる

**自己修復材料**

## Topics 2: 自己修復機能を持つ新素材の事業化②

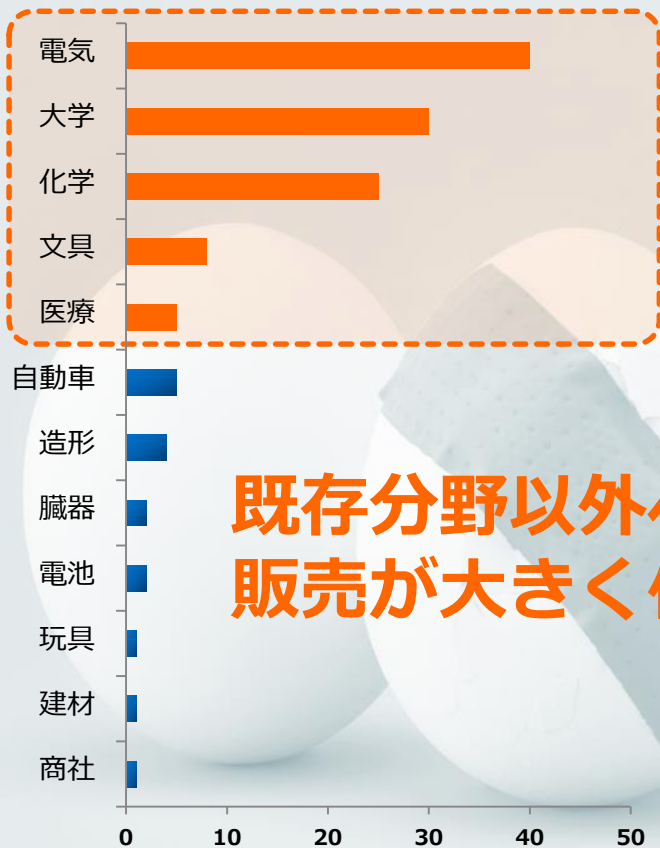
高伸縮性、高靱性を持つ自己修復性素材の事業化を推進  
水分を含まない自己修復材料（ウィザードエラストマー）の開発に成功



## Topics 2: 自己修復機能を持つ新素材の事業化③

### 幅広い分野で高まる事業化の可能性

これまでの販売実績



既存分野以外への  
販売が大きく伸長

Topics

臓器モデルや医療器具を製造・販売する  
クロスメディカル社において  
ウィザードゲルを使用した臓器モデルをリリース

【さまざまな心臓・臓器モデル造形への採用事例】



株式会社クロスメディカル ウェブサイト

<https://www.xcardio.com/products/wizard-gel/>



## 当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシノの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシノの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみにより全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシノグループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシノをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

A dynamic splash of clear water against a light blue background, with ripples spreading across the surface.

# 参考資料

A background pattern of light-colored hexagons, some with thin green or purple outlines, creating a molecular or crystalline structure.

## Appendix

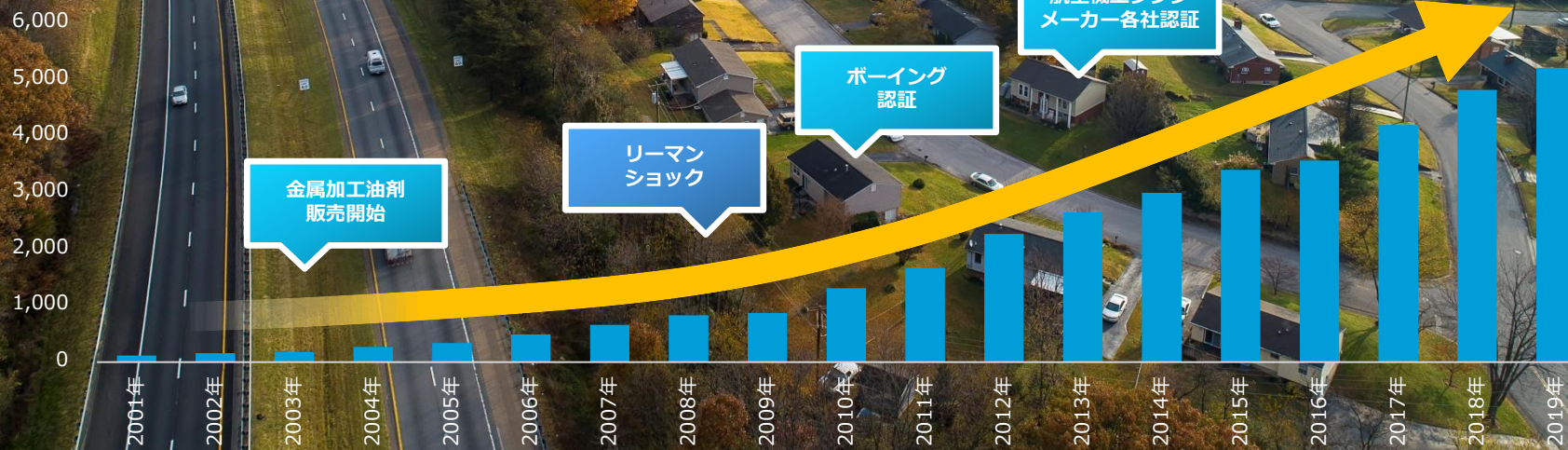
# QualiChem社の概要

## QUALICHEM

社名： QualiChem, Inc.  
所在： アメリカ合衆国バージニア州  
事業内容： 金属加工油剤・水処理剤製造販売  
売上高： 5,207万USD (56億9,500万円)  
営業利益： 439万USD (4億8,100万円)  
従業員： 87名

※2019年度

### QualiChem Offices and Manufacturing





多くの販売代理店を確保



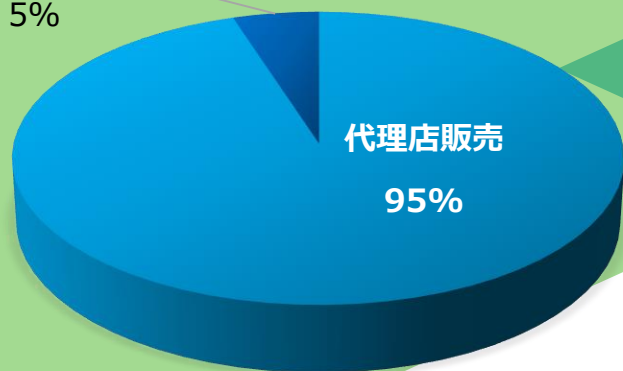
幅広い分野への販売

## QUALICHEM

代理店数

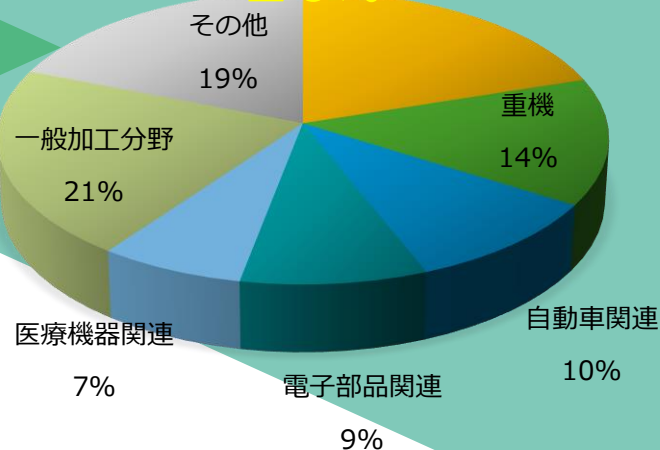
約85社

直販  
5%



航空機関連

20%



シナジー効果発揮へ